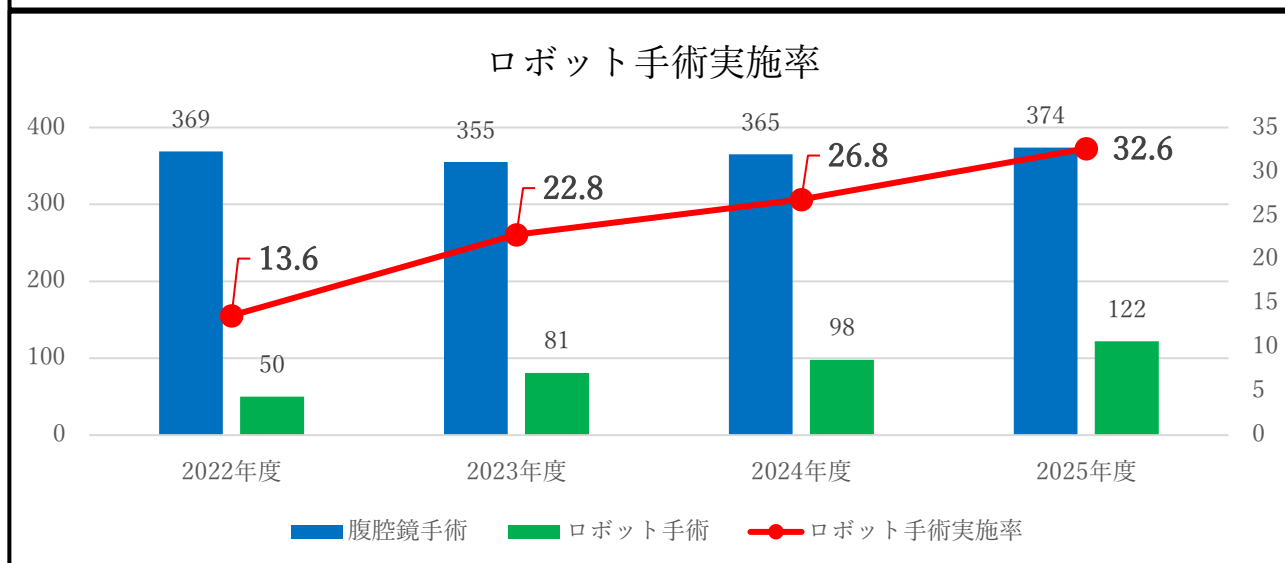
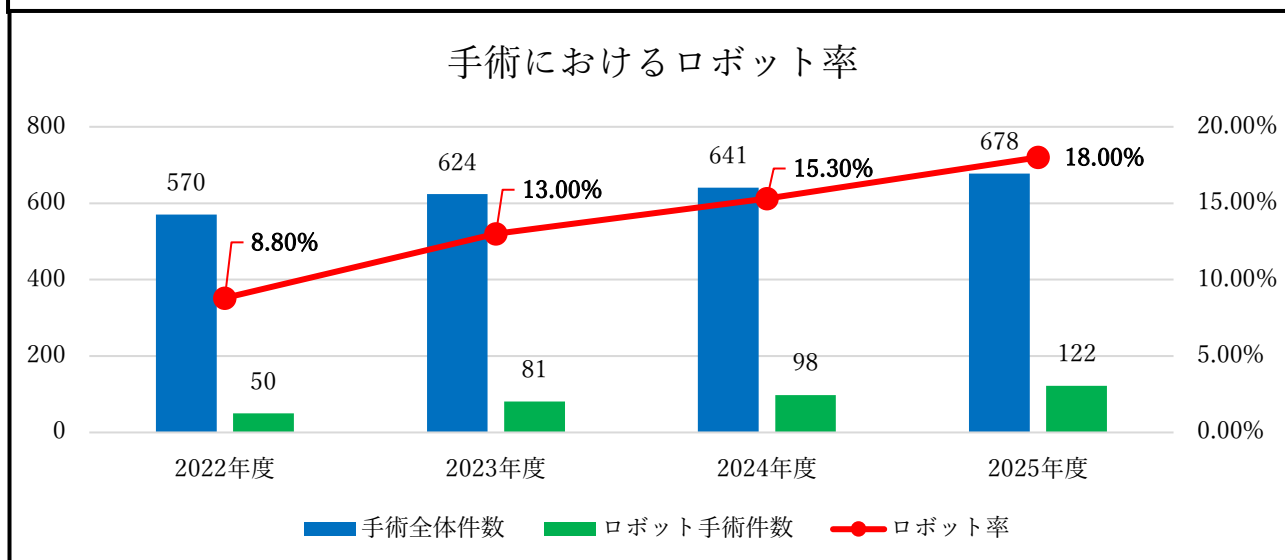
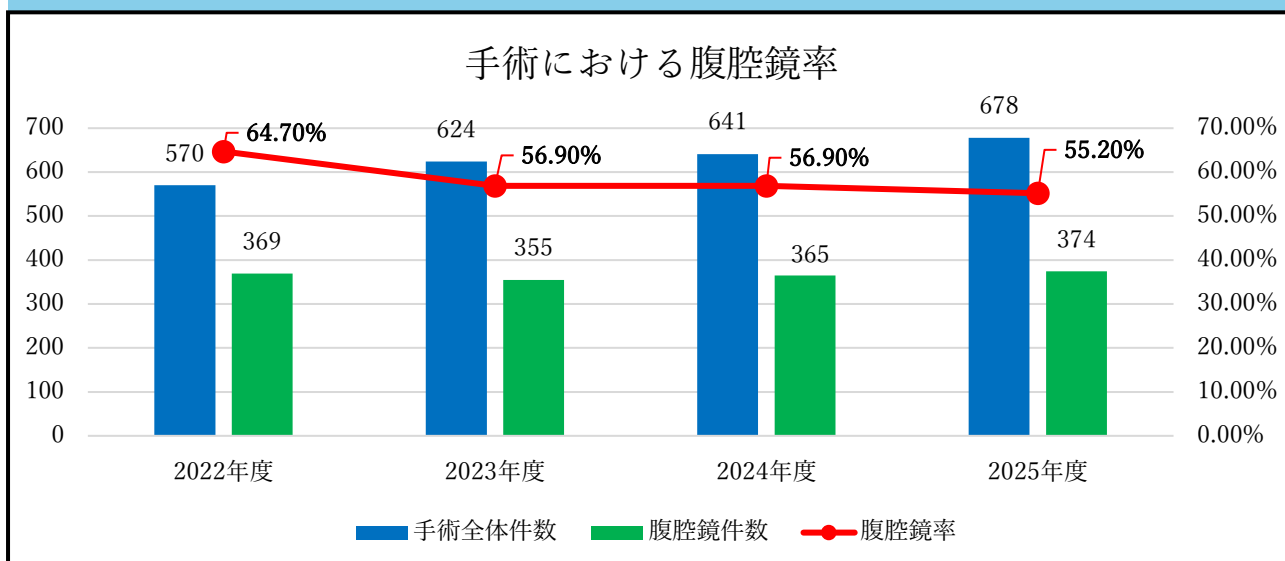


17. 手術における腹腔鏡率・ロボット率

手術における腹腔鏡率・ロボット率（消化器・一般外科）



➤ 指標の説明

当院の消化器・一般外科における腹腔鏡手術およびロボット手術の実施状況を示しています。腹腔鏡手術やロボット手術は、従来の開腹手術に比べて傷口を小さく抑えることができるため、患者さんにとって低侵襲で早期回復・早期退院が期待できるアプローチとなっております。また、当院ではロボット手術で「da Vinci Surgical System（通称：ダヴィンチ）」を採用しており、大学病院として先進医療の導入にも力を入れております。

➤ 定義

【腹腔鏡手術実施率】

分子：腹腔鏡手術実施件数

分母：手術全体件数（消化器・一般外科）

【ロボット手術実施率】

分子：ロボット手術実施件数

分母：手術全体件数（消化器・一般外科）

【ロボット手術割合】

分子：ロボット手術実施件数

分母：腹腔鏡手術実施件数

➤ 評価

当院消化器・一般外科における全体の手術件数、腹腔鏡手術件数は増加していることに加えて、特に腹腔鏡手術のうちロボット手術の割合が導入当初から約3倍に増加しています。対象部位として2024年から肝切除術や膵体尾部切除術も加わっていることや、手術室の環境改善によりロボット手術を1日に2件に増加させることなどの対応により今後も先進的かつ低侵襲なロボット手術を積極的に行って参ります。